



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東 大名

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

コード番号 9044 URL <http://www.nankai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 亘 信二

問合せ先責任者 (役職名) 経理室経理部長

(氏名) 田内 信彦

TEL 06-6644-7145

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	89,087	△0.4	12,532	18.7	9,226	36.3	5,296	46.9
24年3月期第2四半期	89,463	△2.8	10,555	△9.6	6,769	△10.7	3,606	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,000百万円 (77.6%) 24年3月期第2四半期 2,252百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.13	—
24年3月期第2四半期	6.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	766,755	136,977	17.5
24年3月期	789,591	135,602	16.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 134,470百万円 24年3月期 133,127百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	6.1	21,100	15.3	14,100	27.4	7,900	38.9	15.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	526,412,232 株	24年3月期	526,412,232 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,683,283 株	24年3月期	3,657,595 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	522,742,794 株	24年3月期2Q	522,790,218 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は、終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

・決算説明会につきましては、平成24年11月9日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。また、この説明会で配布する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	△3.0	16,500	11.2	9,600	31.7	5,300	40.7	10.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. (参考) 四半期個別財務諸表	12
(1) (参考) 四半期個別貸借対照表	12
(2) (参考) 四半期個別損益計算書	14
5. 四半期決算補足説明資料	15
(1) セグメント情報（連結）	15
(2) 金融収支（連結）	15
(3) 借入金及び社債残高（連結）	15
(4) 投資額（連結）	16
(5) 減価償却費（連結）	16
(6) 鉄道旅客収入及び輸送人員表（個別）	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災からの復興需要による景気の下支えがあったものの、円高や電力需給問題の長期化のほか、欧州債務危機問題を背景とした海外経済の減速等により、景気の先行きに不透明感が増してまいりました。

このような経済情勢の下におきまして、当社グループでは2年目に入った中期経営計画「凜進130計画」に掲げる基本方針に従い、引き続き各種施策への取組みを進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、東日本大震災の影響からの回復が見られたことや、関西国際空港の利用者が増加したこと等により、運輸業において増収となったものの、前年同期には、レジャー・サービス業のビル管理メンテナンス業において大型設備工事の完成があったことや、建設業が減収となったことが響き、前第2四半期連結累計期間に比べ3億75百万円(0.4%)減少の890億87百万円となりました。一方、営業利益は、運輸業における増収に伴う増益に加え、費用削減努力もあり、前第2四半期連結累計期間に比べ19億77百万円(18.7%)増加の125億32百万円、経常利益は前第2四半期連結累計期間に比べ24億57百万円(36.3%)増加の92億26百万円、四半期純利益は前第2四半期連結累計期間に比べ16億89百万円(46.9%)増加の52億96百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、平成24年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前第2四半期連結累計期間比につきましては、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

## &lt;運輸業&gt;

鉄道事業におきましては、営業面では、関西国際空港利用客の利便性向上と当社空港線の利用促進をはかるため、既に発売実績のある同空港と大阪市内・京都とを結ぶ「関空ちかトクきっぷ」、「京都アクセスきっぷ」に加え、新たに神戸・奈良とを結ぶ「神戸アクセスきっぷ」、「奈良アクセスきっぷ」の発売を開始するなど、企画商品のラインナップ充実をはかりました。また、本年4月1日、和歌山大学前駅の開業にあわせ、南海線において、特急「サザン」の増発や輸送体制の効率化を目的としたダイヤ変更を実施いたしました。また、駅ナンバリングの導入や関西空港駅における「南海ツーリストサポートセンター」の設置等、旅客向け案内を強化し、海外を含む沿線外からの旅客サービスの向上に努めました。施設面では、かねて運転保安度の向上のために進めてまいりました泉大津市内の南海本線連続立体交差化工事において、下り線の高架工事が完成し、8月4日に供用を開始いたしました。バス事業におきましては、引き続き効率的な輸送体制の整備を進める一方、大阪市交通局から新たなバス路線の運行を受託するとともに、旅客需要に即した割引サービスを拡充させるなど、各種の増収策を講じました。この結果、運輸業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ9億86百万円(2.3%)増加の430億68百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ15億41百万円(29.2%)増加の68億16百万円となりました。

## &lt;不動産業&gt;

不動産賃貸業におきましては、パークタワーをはじめ各物件において稼働率の維持向上に努めるとともに、本年4月に開業したライブホール「Zepp Namba (OSAKA)」の敷地の賃貸を開始いたしました。不動産販売業におきましては、南海くまどり・つばさが丘、南海林間田園都市・彩の台等で宅地及び戸建住宅の分譲を進める一方、当社高野線白鷺駅のほか、大阪市住吉区内(阪堺電気軌道上町線姫松駅徒歩6分)、東大阪市内(近鉄奈良線河内永和駅前)、神戸市中央区内(JR神戸線三ノ宮駅徒歩9分)において、分譲マンションの販売に注力いたしました。しかしながら、不動産賃貸業において減収減益となったことが響き、不動産業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億90百万円(1.7%)減少の109億76百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億30百万円(3.8%)減少の32億79百万円となりました。

## &lt;流通業&gt;

ショッピングセンターの経営におきましては、本年4月のZepp Namba (OSAKA)の開業を契機として、なんばCITY、なんばパークス、高島屋大阪店及びZepp Namba (OSAKA)が共同でイベントを実施するなど、なんばエリアにおける他の事業者等との連携を深めることにより、当社施設の売上拡大に努めました。流通業のその他では、3月に当社の完全子会社とした南海リテールプランニング株式会社において、京阪神及び首都圏のショッピングセンターを中心に、お客さまのニーズに即した商品販売に注力するなど、積極的な販売促進活動を展開いたしました。この結果、流通業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ3億98百万円(3.2%)増加の129億9百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ6億63百万円(76.5%)増加の15億29百万円となりました。

なお、当社グループの駅ビジネスを再編・強化するため、4月1日、ショップ南海を柱とする駅周辺商業賃貸事業及びコンビニエンスストア「アンスリー」の運営事業を、南海商事グループに集約・一元化いたしました。

<レジャー・サービス業>

遊園事業におきましては、みさき公園において、時季に適した催物を開催するほか、動物園での体験型イベントを強化・拡充いたしました。また、夏のプール営業期間中、昨年に続いてアイドルグループ「NMB48」をイメージキャラクターに起用するなど、ファミリー層や中高生を中心にお客さまの誘致に努めました。ボートレース施設賃貸業におきましては、ボートレース住之江において、本年4月、国内外からの旅行者向けに、ルール解説や施設見学等がセットになった「ボートレース住之江・ナイトツアー」を開始いたしました。ビル管理メンテナンス業におきましては、民間事業者のほか、官公庁等からの新規管理物件の獲得に注力いたしました。その他といたしましては、葬祭事業におきまして、堺市西区及び枚方市において12、13号店となる葬儀会館「ティア浜寺」及び「ティア枚方」をそれぞれオープンいたしました。また、瀧峡ウオータージェット船の志古乗船場及びドライブイン志古では、昨年9月の紀伊半島大水害により大きな被害を受けましたが、本年7月8日、「瀧峡めぐりの里 熊野川」としてリニューアルオープンいたしました。しかしながら、前年同期に大型設備工事の完成があったビル管理メンテナンス業で減収となったことが響き、レジャー・サービス業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億68百万円(1.0%)減少の163億73百万円となりましたが、費用削減努力もあり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ48百万円(11.7%)増加の4億65百万円となりました。

<建設業>

建設業におきましては、建設投資の減少に伴う受注競争の激化や労務単価の上昇等、厳しい事業環境下で推移した結果、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ3億88万円(2.1%)減少の185億63百万円となりましたが、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ激増の5億40百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ40百万円(7.3%)減少の5億7百万円となり、営業損益は前第2四半期連結累計期間に比べ37百万円減少し、16百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、受取手形及び売掛金の減少や減価償却の進捗等により、前連結会計年度末に比べ228億35百万円減少の7,667億55百万円となりました。

負債の部では、借入金及び社債の減少等により、前連結会計年度末に比べ242億10百万円減少の6,297億78百万円となりました。

純資産の部では、剰余金の配当及び保有株式の株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少があったものの、四半期純利益の計上による増加等により、前連結会計年度末に比べ13億74百万円増加の1,369億77百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末比で0.6ポイント増加し、17.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、前第2四半期連結累計期間に比べ69億90百万円流入が増加し、189億3百万円の流入となりました。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収等により、前第2四半期連結累計期間に比べ24億45百万円支出が減少し、46億67百万円の流出となりました。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入が減少したこと等により、前第2四半期連結累計期間に比べ76億66百万円支出が増加し、145億39百万円の流出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ3億3百万円減少し、186億32百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

格安航空会社(LCC)の就航便数増加による関西国際空港利用者の増加等、一部に明るい兆しが見られるとはいえ、欧州債務危機を巡る不確実性の高まりを背景とした海外経済の減速や、領土問題に端を発する対中関係の悪化等がわが国の景気回復の動きを一段と弱めつつあり、当社グループをとりまく経営環境も依然として予断を許さない状況にあります。このような状況の下、通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえ前回発表時(平成24年4月27日)の予想数値を変更いたしました。

営業収益は、関西国際空港の利用者が増加したこと等により運輸業において増収となる見込みであるものの、成長戦略における事業計画の一部を見直したことにより、前回予想より37億円(1.9%)の減収を見込んでおります。一方、利益面では、運輸業における増収に伴う増益に加え、費用削減努力もあり、営業利益については14億円(7.1%)、経常利益については19億円(15.6%)、当期純利益については15億円(23.4%)の増益を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 平成25年3月期の連結業績予想数値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	196,700	19,700	12,200	6,400
今回発表予想 (B)	193,000	21,100	14,100	7,900
増減額 (B-A)	△3,700	1,400	1,900	1,500
増減率 (%)	△1.9	7.1	15.6	23.4
(ご参考) 前期実績(平成24年3月期)	181,869	18,294	11,067	5,686

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,677	19,400
受取手形及び売掛金	15,884	13,590
商品及び製品	29,424	29,820
仕掛品	2,061	598
原材料及び貯蔵品	2,254	2,197
その他	14,323	10,067
貸倒引当金	△90	△70
流動資産合計	83,535	75,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	327,483	324,197
土地	294,233	294,475
建設仮勘定	37,151	28,689
その他（純額）	19,353	18,382
有形固定資産合計	678,221	665,744
無形固定資産	2,439	2,376
投資その他の資産		
投資有価証券	17,509	15,762
その他	11,242	10,429
貸倒引当金	△3,357	△3,160
投資その他の資産合計	25,394	23,030
固定資産合計	706,055	691,151
資産合計	789,591	766,755



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,577	16,593
短期借入金	96,697	89,036
1年以内償還社債	20,000	10,000
未払法人税等	775	1,590
賞与引当金	2,055	2,404
その他	52,499	42,910
流動負債合計	191,605	162,535
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	288,648	294,544
退職給付引当金	13,521	13,599
建替関連損失引当金	1,106	1,081
負ののれん	180	68
その他	83,927	82,949
固定負債合計	462,383	467,243
負債合計	653,988	629,778
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,471	18,471
利益剰余金	23,401	24,826
自己株式	△1,304	△1,313
株主資本合計	104,307	105,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579	248
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	27,240	28,499
その他の包括利益累計額合計	28,819	28,747
少数株主持分	2,474	2,507
純資産合計	135,602	136,977
負債純資産合計	789,591	766,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	89,463	89,087
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	76,333	73,703
販売費及び一般管理費	2,574	2,851
営業費合計	78,908	76,555
営業利益	10,555	12,532
営業外収益		
受取利息	24	26
受取配当金	277	283
負ののれん償却額	126	111
雑収入	312	328
営業外収益合計	739	749
営業外費用		
支払利息	4,283	3,829
雑支出	242	225
営業外費用合計	4,525	4,055
経常利益	6,769	9,226
特別利益		
工事負担金等受入額	2,036	13,085
その他	56	344
特別利益合計	2,093	13,429
特別損失		
工事負担金等圧縮額	1,757	13,014
固定資産除却損	818	—
投資有価証券評価損	134	—
その他	600	1,939
特別損失合計	3,310	14,953
税金等調整前四半期純利益	5,551	7,702
法人税、住民税及び事業税	1,038	1,528
法人税等調整額	909	804
法人税等合計	1,948	2,332
少数株主損益調整前四半期純利益	3,603	5,370
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	74
四半期純利益	3,606	5,296

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,603	5,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,330	△1,370
繰延ヘッジ損益	△20	△0
その他の包括利益合計	△1,351	△1,370
四半期包括利益	2,252	4,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,300	3,965
少数株主に係る四半期包括利益	△47	34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,551	7,702
減価償却費	11,002	10,119
工事負担金等圧縮額	1,757	13,014
支払利息	4,283	3,829
工事負担金等受入額	△2,036	△13,085
売上債権の増減額 (△は増加)	△223	3,897
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,542	△5,033
たな卸資産の増減額 (△は増加)	417	1,059
その他	△540	1,452
小計	15,668	22,958
利息及び配当金の受取額	306	314
利息の支払額	△4,270	△3,900
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	208	△468
その他	—	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,913	18,903
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△15,795	△13,979
工事負担金等受入による収入	8,359	5,931
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,077
その他	323	302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,112	△4,667
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△910
長期借入れによる収入	12,101	25,110
長期借入金の返済による支出	△15,186	△25,965
社債の発行による収入	19,895	9,939
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△2,600	△2,602
その他	△83	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,872	△14,539
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,072	△303
現金及び現金同等物の期首残高	17,561	18,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,489	18,632

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	41,457	10,754	12,311	11,841	13,015	82	89,463
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	624	413	199	4,700	5,936	465	12,338
計	42,082	11,167	12,511	16,542	18,951	547	101,802
セグメント利益	5,275	3,410	866	416	539	20	10,528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,528
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	10,555

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	42,408	10,552	12,720	11,899	11,379	126	89,087
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	660	424	188	4,473	7,183	380	13,311
計	43,068	10,976	12,909	16,373	18,563	507	102,399
セグメント利益又は損失(△)	6,816	3,279	1,529	465	540	△16	12,614

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,614
セグメント間取引消去	△81
四半期連結損益計算書の営業利益	12,532

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分を一部変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の区分により作成したものを開示しております。

## 4. (参考) 四半期個別財務諸表

## (1) (参考) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	59,514	54,509
現金及び預金	10,876	9,413
販売土地及び建物	25,929	26,007
その他	22,897	19,187
貸倒引当金	△188	△98
固定資産	689,049	672,359
鉄道事業固定資産	292,250	291,789
付帯事業固定資産	303,813	300,340
各事業関連固定資産	2,333	2,261
建設仮勘定	36,204	26,759
投資その他の資産	54,447	51,207
関係会社株式	30,659	30,749
関係会社長期貸付金	11,052	9,182
その他	13,866	12,594
投資評価引当金	△140	△140
貸倒引当金	△989	△1,178
資産合計	748,563	726,869

(単位：百万円)

科 目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	174,024	145,906
短期借入金	83,638	78,539
1年以内償還社債	20,000	10,000
賞与引当金	927	1,097
その他	69,458	56,269
固定負債	448,185	453,747
社債	75,000	75,000
長期借入金	283,685	290,609
退職給付引当金	8,804	8,613
その他	80,694	79,523
負債合計	622,209	599,653
(純資産の部)		
株主資本	99,672	100,190
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,478	18,478
利益剰余金	18,759	19,286
自己株式	△1,304	△1,313
評価・換算差額等	26,682	27,025
その他有価証券評価差額金	274	△631
土地再評価差額金	26,407	27,656
純資産合計	126,354	127,215
負債純資産合計	748,563	726,869

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。



(2) (参考) 四半期個別損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日
鉄道事業営業利益		
営業収益	27,320	27,870
営業費	22,618	22,156
営業利益	4,701	5,713
付帯事業営業利益		
営業収益	18,208	16,285
営業費	13,979	11,556
営業利益	4,228	4,729
全事業営業利益	8,930	10,443
営業外収益	891	986
受取利息	120	149
受取配当金	620	643
雑収入	149	194
営業外費用	4,315	3,949
支払利息	3,343	3,139
社債利息	793	606
雑支出	178	203
経常利益	5,506	7,479
特別利益	2,036	13,011
工事負担金等受入額	2,036	13,011
特別損失	3,047	14,657
工事負担金等圧縮額	1,757	12,940
その他	1,289	1,716
税引前四半期純利益	4,495	5,834
法人税、住民税及び事業税	283	526
法人税等調整額	985	917
四半期純利益	3,226	4,389

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

平成24年10月31日  
南海電気鉄道株式会社

5. 四半期決算補足説明資料

(1) セグメント情報 (連結)

(実績)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	23年9月期 (実績)	24年9月期 (実績)	増減率	23年9月期 (実績)	24年9月期 (実績)	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	42,082	43,068	2.3	5,275	6,816	29.2
不 動 産 業	11,167	10,976	△1.7	3,410	3,279	△3.8
流 通 業	12,511	12,909	3.2	866	1,529	76.5
レジャー・サービス業	16,542	16,373	△1.0	416	465	11.7
建 設 業	18,951	18,563	△2.1	539	540	0.2
そ の 他 の 事 業	547	507	△7.3	20	△16	—
計	101,802	102,399	0.5	10,528	12,614	19.8
調 整 額	△12,338	△13,311	—	26	△81	—
四半期連結損益計算書計上額	89,463	89,087	△0.4	10,555	12,532	18.7

(注) 平成24年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

(予想)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	増減率	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	84,394	85,300	1.1	10,348	11,200	8.2
不 動 産 業	24,592	25,000	1.7	5,093	5,600	9.9
流 通 業	25,040	26,300	5.0	1,544	2,600	68.4
レジャー・サービス業	33,741	35,100	4.0	616	1,000	62.2
建 設 業	39,009	45,700	17.2	867	1,100	26.7
そ の 他 の 事 業	1,402	1,800	28.3	151	100	△34.1
計	208,179	219,200	5.3	18,622	21,600	16.0
調 整 額	△26,310	△26,200	—	△328	△500	—
連結損益計算書計上額	181,869	193,000	6.1	18,294	21,100	15.3

(注) 平成24年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

(2) 金融収支 (連結)

(単位:百万円)

	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	比較増減	24年9月期 (実績)
受取利息及び配当金	505	500	△5	309
支払利息	8,323	7,700	△623	3,829
金融収支	△7,818	△7,200	618	△3,520

(3) 借入金及び社債残高 (連結)

(単位:百万円)

	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	比較増減	24年9月期 (実績)
借入金及び社債残高	480,346	489,300	8,953	468,580

平成24年10月31日  
南海電気鉄道株式会社

(4) 投資額 (連結) (単位:百万円)

	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	比較増減	24年9月期 (実績)
投資額	21,849	36,500	14,650	8,832

(5) 減価償却費 (連結) (単位:百万円)

	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	比較増減	24年9月期 (実績)
減価償却費	22,239	20,600	△1,639	10,119

(6) 鉄道旅客収入及び輸送人員表 (個別)

(実績)

		23年9月期 (実績)	24年9月期 (実績)	比較増減率
旅客収入	定期外	百万円 14,542 (1,569)	百万円 15,110 (1,958)	% 3.9 (24.8)
	定期	11,511 (550)	11,428 (562)	△0.7 (2.2)
	合計	26,054 (2,119)	26,538 (2,520)	1.9 (18.9)
輸送人員	定期外	千人 42,591 (1,868)	千人 43,569 (2,364)	% 2.3 (26.6)
	定期	71,080 (1,720)	70,992 (1,771)	△0.1 (3.0)
	合計	113,671 (3,588)	114,561 (4,135)	0.8 (15.2)

(予想)

		24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	比較増減率
旅客収入	定期外	百万円 29,047 (3,215)	百万円 29,667 (3,688)	% 2.1 (14.7)
	定期	22,548 (1,085)	22,445 (1,115)	△0.5 (2.8)
	合計	51,596 (4,301)	52,112 (4,804)	1.0 (11.7)
輸送人員	定期外	千人 85,466 (3,829)	千人 86,512 (4,512)	% 1.2 (17.8)
	定期	138,018 (3,414)	137,711 (3,514)	△0.2 (2.9)
	合計	223,484 (7,243)	224,223 (8,026)	0.3 (10.8)

- 注 1. 輸送人員は千人未満を四捨五入で表示しております。  
2. 旅客収入は荷物収入を除いております。  
3. ( ) 内は、空港線の数値を内数で表示しております。